

のみだより

2006
第7号



今日からボクたち1年生(湯野小学校入学式)

■ 定例会報告	2
■ 一般質問	5
■ 討論	10
■ 委員会報告	11
■ 視察報告	14

編集後記

発行日：平成18年4月14日
発行：能美市議会
編集：広報特別委員会

〒923-1297 能美市役所辰口庁舎
石川県能美市来丸町1110番地
T E L：(0761)52-8007(代)
F A X：(0761)52-8022
E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp

平成18年度能美市一般会計予算については、189億2,000万円で、平成17年度当初予算に比べて2億6,000万円の減額となります。

主な増減は次のとおり

- 民生費で、粟生児童館建設工事の実施による増額
- 商工費で、岩内工業団地整備事業の追加による増額
- 総務費で、ケーブルテレビ推進事業の終了による減額
- 衛生費で、病院事業整備運営基金積立金の減額
- 教育費で、辰口学校給食センター建設事業の終了による減額など

平成18年度予算の審議結果

- | | |
|---------------------------|------------|
| ○平成18年度能美市一般会計予算 | → 可決（賛成多数） |
| ○平成18年度能美市国民健康保険特別会計予算 | → 可決（賛成多数） |
| ○平成18年度能美市公共下水道事業特別会計予算 | → 可決（全員一致） |
| ○平成18年度能美市農業集落排水事業特別会計予算 | → 可決（全員一致） |
| ○平成18年度能美市介護保険特別会計予算 | → 可決（賛成多数） |
| ○平成18年度能美市老人保健特別会計予算 | → 可決（全員一致） |
| ○平成18年度能美市温泉事業特別会計予算 | → 可決（全員一致） |
| ○平成18年度能美市水道事業会計予算 | → 可決（全員一致） |
| ○平成18年度能美市工業用水道事業会計予算 | → 可決（全員一致） |
| ○平成18年度国民健康保険能美市立病院事業会計予算 | → 可決（全員一致） |

非核平和都市宣言を可決しました。

今定例会において、全会一致で、『非核平和都市を宣言する決議』が可決されました。
決議文は、以下のとおりです。

非核平和都市を宣言する決議

私たちは、海・山・川に恵まれた自然と、先人が築いてきた尊い歴史と香り高い文化の中で日々平和な生活を享有している。

この平和を恒久的なものにするため、世界唯一の被爆国として全世界の人々に「広島」「長崎」にみる被爆の恐ろしさ、苦しみを訴え、再びその惨禍を繰り返させてはならない責任を負っている。

そのため、私たち能美市民は、我が国の基本方針である非核三原則を堅持し、あらゆる国の核兵器の廃絶を訴え、基本的人権の尊重と恒久平和を求め続けることを確認し、ここに本市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

以上、決議する。

平成18年3月13日

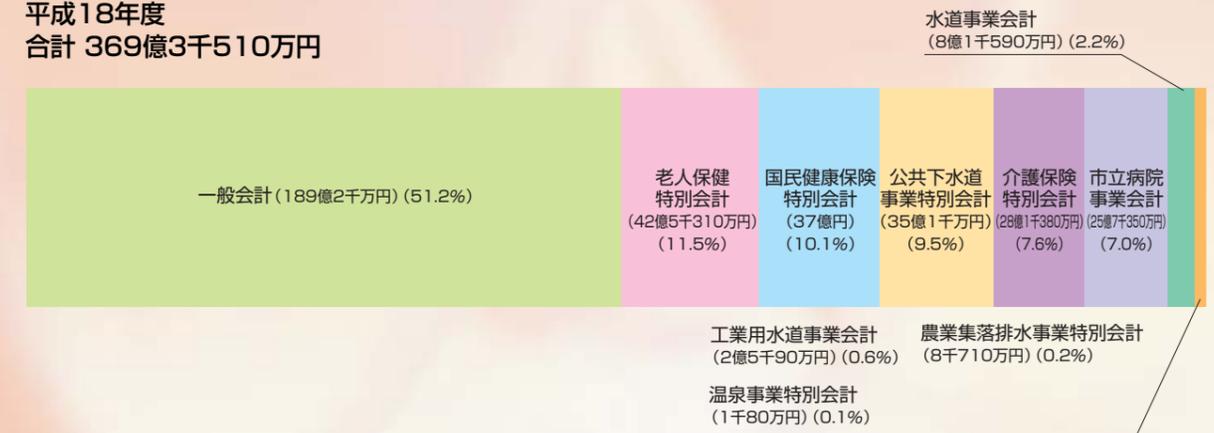
石川県能美市議会

平成18年[第1回] 定例会報告 (会期 平成18年2月23日～3月13日)

平成18年度能美市予算が可決

当初予算の状況

平成18年度
合計 369億3千510万円



平成17年度
合計 368億3千706万円



平成18年度の能美市の一般会計・特別会計・企業会計の予算総額は、合計で369億3,510万円で、平成17年度当初予算より9,804万円の増額となります。

主な増減は次のとおり

- 介護保険特別会計のうち、地域密着型介護サービス給付費や介護予防サービス給付費の新設等に伴う増額
- 老人保健特別会計のうち、医療給付費の増額に伴う増額
- 住宅地開発事業特別会計(福島しらさぎの里造成にかかる特別予算)の廃止など

一般質問

米田 敏勝議員



Q 数値目標に挑戦する職場の意識改革を

合理性や効率性、サービス向上性など市益やサービスといった市民に最大の満足を求めた数値目標に挑戦し、その結果を確かめ効果を喜び評価し合う職場改善の推進に積極的に取り組む。

A 市長答弁

現在策定中の行政改革大綱のなかで人材育成基本方針を示し、人材育成と人事評価を推進してまいりたいと思っており、職員的能力個性を活かしながら組織目標と個人目標を合致させ、全体としての組織力を高めて行きたいと思っている。

Q 職場にQC活動の導入を図れ

行政もこれからの厳しい地方分権社会のなかでQC手法によりチャレンジ精神や意識改革を育むためのQC活動の導入を図り職場に新風を吹き込んだらどうか。

A 市長答弁

QCに取り組む事も考えられるが、本市として成果指標を用いて施策及び事務事業の有効性、効率性を評価する事務事業評価システムの導入を図り、行政の品質の向上を目指し市民の満足度の向上に努めたい。

※QC：品質管理



朝礼風景

北村 國博議員



Q 人口減少対策・定住促進化施策

能美市の人口は、毎年順調に伸びているが、将来、少子化・人口減少は必至である。この元氣な時にこそ、市独自の施策を提案する。
①市内の空家情報等の全国提供
②若い世代の住宅取得に対しての奨励金支給
③市内定住の婚姻者に結婚奨励金の支給

A 市長答弁

人口増加は企業誘致を進め、福祉を充実させてきた結果である。住宅取得者に対する助成措置については今後検討課題とする。地元町内会と連携しながら空き農家・空き農地情報等を全

Q 辰口丘陵公園テニスコートの利用料金を減額せよ

国発信し、里山体験交流事業や里山支援事業を通じて魅力的な里山を都市住民にアピールしていきたい。また、結婚奨励金については楽しい話題提供になるが、現在まだ考えていない。

A 市長答弁

今後、利用料金の見直しや無料開放デー等の集客事業について働きかけをしていきたい。

Q 室内温泉プールのクラブ使用について不公平がないようにせよ

A 市長答弁

指定管理者制度に準じた公募結果、一社のみが応じた。市としても憂慮しているが、他のクラブの利用については、計画書内容を見て、公社で検討中である。

その他の議決事項

- 能美市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について → 可決（全員一致）
- 能美市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定について → 可決（全員一致）
- 能美市国民保護協議会条例の制定について → 可決（賛成多数）
- 能美市国民保護対策本部及び能美市緊急対処事態対策本部条例の制定について → 可決（賛成多数）
- 能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 能美市商工福祉会館条例の一部を改正する条例について → 可決（全員一致）
- 能美市特別会計条例の一部を改正する条例について → 可決（全員一致）
- 能美市営住宅条例の一部を改正する条例について → 可決（全員一致）
- 能美市公民館条例の一部を改正する条例について → 可決（全員一致）
- 能美市根上総合文化会館条例の一部を改正する条例について → 可決（全員一致）
- 能美市学習会館条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 能美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 能美市公共下水道条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 能美市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 能美市介護保険条例の一部を改正する条例について → 可決（賛成多数）
- 能美市商工福祉会館の指定管理者の指定について → 可決（賛成多数）
- 非核平和都市を宣言する決議 → 可決（賛成多数）

平成17年度補正予算

- 平成17年度能美市一般会計補正予算（第5号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市老人保健特別会計補正予算（第1号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市温泉事業特別会計補正予算（第1号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市住宅地開発事業特別会計補正予算（第1号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市水道事業会計補正予算（第3号） → 可決（賛成多数）
- 平成17年度能美市工業用水道事業会計補正予算（第1号） → 可決（賛成多数）

人事案件

- 能美市教育委員会委員の任命について → 可決（賛成多数）
松崎 陽充氏（辰口町）

意見書及び請願

- 意見書
- 地方道路整備促進に関する意見書 → 可決（賛成多数）
- 請願
- 誰もが安心して暮らせるよう皆保険制度の堅持と改善を求める国への意見書提出の請願書 → 不採択（賛成少数）
- 消費税の税率を引き上げないよう国に求める請願 → 不採択（賛成少数）

一般質問

青山 利明議員



Q ケーブルテレビの加入を促進せよ

昨年、初期の工事費を市などが負担するキャンペーンを実施。約三割の世帯が加入した。市民の間では関心を持ちつつもつい期間が過ぎたとの声も多い。追加キャンペーンを継続的に実施せよ。

A 市長答弁

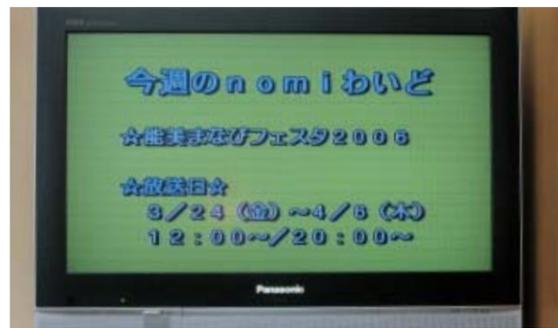
能美市の加入は4千83世帯。よつやく能美市全域の基盤整備が終了した段階であり性急な対応は難しい。当面は地域チャンネルの放送内容の充実に努めたい。

Q 河川水などを利用した消雪装置を

消雪装置の地下水のくみあげで地盤沈下も問題となつている。手取川扇状地の地下水揚水量の37・9%能美市が占めている。河川水、冷却水などの工場排水、下水道放流水を利用できないか。

A 市長答弁

水質や技術的な諸問題、費用対効果など、検討する必要がある。今後も機械除雪を中心に冬季間の交通を確保したい。



ケーブルテレビ

小手川 正明議員



Q 雪害に万全な対策と支援を

12月半ばからの大雪は、中山間地を主体に1メートルを越える積雪となり、屋根の雪下ろし経費や雪捨て場の確保、事前の安全対策や除雪に関わるPRなど反省すべき点があり、万全の対策と支援をせよ。

A 市長答弁

雪捨て場の確保、道路改良、高齢者住宅屋根雪下ろし助成などの問題に対応していきたい。

A 産業建設部長答弁

「自助・共助・公助」が非常時の大原則であり、現行制度内の問題点を検証した上で、改善

Q 歩道や施設の有効的活用を

旧町間で歩道の位置や車の乗り入れ可否に違いがある。横断歩道などを統一の考え方で整備せよ。

A 市長答弁

歩道については、地域住民の意向なども参考にして対応策を考えたい。

根上総合文化会館は、全国トップレベルにある中学校吹奏楽部OB・OGに呼びかけ、楽団を結成するなど市民に喜ばれる市民中心の利用を指示した。文化振興ゾーンとして管理運営に努力したい。

嵐 昭夫議員



Q 小中学校の不登校の対応と基礎学力向上に対策を

スクールカウンセラー等できめ細かに行う。文章を読む力、読解力がやや弱い。文科省の研究指定を受け学校中心に研究実践に努める。

Q 食育基本法にそつた朝ごはん条例を

食習慣の乱れや朝食抜き身体への影響が懸念。「学びフェスタ」で熱心に討議し、学校でも啓発活動している。「健康能美二十一計画」で方針を掲げてい

く。条例は考えていない。

A 市長答弁

屋根雪下ろしは重労働かつ危険。そのシステムの設置戸当り平均200万円、白山市では設置費の二分の一を助成、ランニングコストは自己負担20〜40万円とかなりかさむ。慎重に必要性について検討する。市は町会に対し除雪機の購入に50万円を限度に助成制度がある。

Q 大学院大学周辺整備と住宅地の区画整備を

農土地開発公社が事業主体で総面積175ヘクタール。研究所用地、住宅用地、新技術企業の育成や発展、教職員研究者の定住など初期の目的が達成されず県当局に要望していく。

北野 哲議員



Q インターチェンジの建設を

北陸高速道の市内にインターチェンジの建設は北部の横断道路へのアクセスとして多くのメリットが想像できる。赤井、栗生、下清水、岩内の各工業団地を結び、市の産業振興に大きな効果があり、小松空港より将来増加が見込まれる台湾、韓国、中国等からの観光客を辰口温泉へ誘致し、北陸先端科学技術大学院大学への人的交流や中山間地域の活性化対策として団塊世代のUターン、Uターンの勧誘が見込めるが、対応を問う。

A 市長答弁

建設には多額の費用がかかり、小松、美川インター間の短



能美市にICを (写真は美川IC)

一般質問

一般質問

白川 寛議員



Q 根上海岸離岸堤2基倒壊早期復元せよ

A 産業建設部長答弁

最新の技術工法で整備されたとは言え、自然現象の猛威には成す術も無いのが実情である。国土保全と災害防止のため、海岸復元対策、調査研究費200万円を新規事業として計上し、協議検討を重ねると共に国県当局へ積極的に陳情請願していく。



吉原金屋海岸離岸堤

らの受託事業として、毎年その対応に苦慮している。海岸保安林の飛砂防止対策で有効な実績を上げている先進地事例を検証し、当地に適合した施策は何か見極め、国県当局へ実現に向け働き掛けたい。

Q 防護堤内側の自転車道の飛砂防止対策をはかれ

A 産業建設部長答弁

海浜自転車道路の管理は県が



道林町地内サイクリングロード

一般質問

畑中 晃昭議員



Q 地域産木材の流通促進を

木材価格が低迷し、当市の林業が衰退している。森林が担う公益性の高さや多面的機能の多さの観点から山林振興が重要な施策である。林業を発展させ地域産の木材の使用流通を促進すべきである。

A 市長答弁

地域産木材を75%以上使用した住宅に30万円助成する制度を創設した。県も同様の助成があるので活用してほしい。又、今後は公共施設等に積極的に地域産材を採用し市民にアピールしたい。

Q 地籍調査事業の継続実施を



地籍調査の必要性は現存する資料は明治初期に作られたものを基に加除訂正したものです。当時の測量技術の低さから現地と合わず、地図としての役割を果たしていない。土地利用の高度化から、実態に即した基礎資料が必要である。

A 市長答弁

住民間の境界紛争の防止、課税の不公平是正、行政運営の効率化、土地取引の円滑化等をもたらす重要な事業であり、今後、未実施の町会に対し事業の主旨、目的を普及し、調査の実施を積極的に働きかけていく。

居村 清二議員



Q 専門職の人材育成について

新年度以降市は、粟生児童館や辰口中学校北校舎改築など、安全な建物を提供する為に県に依頼するのではなく、自市で、審査、チェックする人材を確保せよ。

A 市長答弁

市では、今後、建築主事を置いて、小規模な建築物に限って審査、許可業務を行なう事が出きる限定特定行政庁になることを念頭に入れている。人材の確保、育成等、県と連携を密にし、準備を進めていく。

Q マイ保育園登録事業の展開と効果について



保育園風景

この新規事業において、育児や子育てに不安を持つ対象者を確実に導けるか、その対応は、そして、効果は、

A 民生部長答弁

利用促進に、広報の掲載、母子手帳の発行時や乳児健診の際に事業の紹介をする。各保育園では、これまでの保育士としての経験を活かした対応をし、保育園を身近なものに徹底させ、妊娠時から3歳未満の子育て家庭の育児不安の解消を図っていく。

福田 豊議員



Q 市内保育園の整備状況について

能美市では近年園児数が増加。少子化対策に取り組む市としての保育園の整備状況は。

A 市長答弁

合併前は各町が改修、改善の対応。今後、統廃合・民営化も視野に入れた全市的な整備が必要。適正な規模、周辺道路、宅地開発等考慮し総合的に整備。

Q 地籍調査の推進を

効果として災害対策、まちづくりの他に土地資産の保全、土地取引、民間開発の利便あり。導入予定の地理情報システム(GIS)の有効活用のために

も推進を。

A 産業建設部長答弁

調査の実施を積極的に働きかけ、GISとの相互有効利用を図っていききたい。

Q 商業の振興・商店街の活性化について

中心街の活性化と一体性づくり。今のところ旧根上地区では、JR寺井駅周辺整備事業、旧辰口地区では、辰口中心街活性化事業計画があり、それに対し旧寺井地区の整備計画は。

A 産業建設部長答弁

最重要で緊急な行政課題の一つ。中長期的視野に立った計画を策定することが急務。また現段階では寺井地区旧駅前通りにてチャレンジショップ支援事業を実施予定。

委員会活動

総務 常任委員会



▲総務常任委員会風景

委員会付託案件 5件

- 能美市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例 → 原案承認（全員一致）
- 能美市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市一般会計予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
- 平成17年度能美市一般会計補正予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
- 消費税の税率を引き上げないよう国に求める請願 → 不採択（全員一致）

委員会における質疑応答

- ◎ 人事行政運営状況公表に関する条例とは何か。
 A 人事行政の運営等の公表に関し必要な事項を定めるものです。
- ◎ 市職員の給料がどう改正されるのか。
 A 人事院勧告に基づき全体として平均4・1%給料月額平均12,600円引き下げる。中高年層は、平均7・45%給料月額31,700円引き下げる。
- ◎ 財源的にどう改正されたのか。
 A 給料で6,970万円、職員手当で2,990万円、共済費で2,810万円、合計1億2770万円引き下げとなる。
- ◎ 平成18年度能美市予算総額はどのくらいか。
 A 歳入歳出それぞれ189億2,000万円で対前年比1・4%の減です。
- ◎ 歳入の主な財源は何か。
 A 市税65億800万円、地方交付税42億円、国県支出金19億4,570万円や合併特例債5億8,860万円、市債19億8,630万円です。
- ◎ 自治会関連事業とは何か。
 A ふるさと活性化支援、町会、町内会が計画する魅力あるまちづくり事業など。
- ◎ 庁舎管理費の内訳はどうか。
 A 根上庁舎2,153万円、寺井庁舎2,552万円、辰口庁舎4,133万円です。
- ◎ 市有財産購入はどこ土地であるのか。
 A 土地開発公社所有財産の買戻しで、三道山、寺井町地内の公共施設用地の一部です。
- ◎ 平成17年度補正予算で主なものは何か。
 A 歳入では年度末の事業費の確定によるものです。歳出では除雪経費の追加、後年度財政負担軽減のため補助金繰上交付によるものです。
- 請願審議内容については。
 国会で議論されていないのに賛成、反対の議論するのは時期尚早、また歳出の抜本的見直しや改革を考えるべきで現時点で不採択と決定。

一般質問

近藤 啓子議員



Q 障害者控除証明書を現在要介護者の何名に発行しているか
また、発行枠の拡大を図る。

れ

介護サービス利用料負担は、家族にも大きな負担となっている。要介護認定者に証明書を発行し、税負担の軽減をはかれ。

A 市長答弁

要介護度と障害の程度は必ずしも一致しない。市独自の基準で発行している。
現在要介護者の発行はゼロ名となっている。今後全国の例などふまえ、検討したい。

Q 健康づくりに、クアハウスの有効活用を

クアハウスを市民の健康づくりに有効に活用できないか。
2階フロアーの改修・拡大で、介護予防事業所として位置づけ活用してはどうか。

A 市長答弁

これまで約380万人の利用がある。健康教室やスポーツ教室、体力増強運動等の普及・指導を行っている。2階の改修は、現状では困難と判断している。

Q わだやま荘の改築と一体のものとし、健康づくりに役立つ施設への改善はできないか

A 市長答弁

わだやま荘の検討審議会の答申は、現在地での建て替えである。今後、議会・常任委員会の意見も含め検討したい。

討論 反対

近藤 啓子議員



議案第16号
平成18年度一般会計予算

小泉構造改革は、国民の貧困と社会的格差を広げ重大な社会問題となっている。
能美市でも、1年間で、生活保護世帯は、49世帯へと17%も増え、就学援助を受ける子供は、5年間で1・7倍化し、182名になっている。
個人市民税負担は、2億2,065万円も増え、しかも税制度変更だけで1億5,100万円も負担が増えることになる。
介護保険料の引き上げによる

り、65歳以上では1億3,254万円、65歳以下の国保の関係で2,018万円の負担増となる。
一方、合併駆け込み事業は、住民との合意も不十分な中で進められ、矛盾も噴出してきている。
中心街活性化事業や小松インタール線など建設計画は厳格に見直すべきである。
市民の生活実態からも、不要不急の公共事業は厳しく見直し、市民の福祉・暮らし・教育を応援する予算とし、当面、まず介護保険、障害者自立支援法による負担軽減をはかるべきである。
子育て支援において、正規保育士の採用を図り、子供たちに目の行き届いた保育園の充実が求められる。保育園の民営化は反対である。
英霊にこたえる会補助、国民保護法に関する条例は賛成できせん。
国民保護法に関する条例
自衛官も参加し、平時から、戦闘態勢の社会と自治体づくりをめざすものである。
介護保険料見直しに関する条例
基準額で4,500円へと引き上げる。高齢者の命や暮らしを脅かしかねない。

委員会活動

教育民生 常任委員会



▲教育民生常任委員会風景

委員会付託案件 16件 主なもの

- 能美市障害区分認定審査会の委員の定数等を定める条例について → 原案承認（全員一致）
- 能美市国民保護協議会条例の制定について → 原案承認（賛成多数）
- 能美市国民保護対策本部及び能美市緊急対処事態対策本部設置条例の制定について → 原案承認（賛成多数）
- 能美市国民健康保険条例の一部を改正する条例について → 原案承認（賛成多数）
- 能美市介護保険条例の一部を改正する条例について → 原案承認（賛成多数）
- 平成18年度能美市一般会計予算（所管事項） → 原案承認（賛成多数）
- 平成18年度能美市国民健康保険特別会計予算 → 原案承認（賛成多数）
- 平成18年度能美市介護保険特別会計予算 → 原案承認（賛成多数）
- 平成18年度能美市老人保健特別会計予算 → 原案承認（賛成多数）
- 平成17年度能美市一般会計補正予算（所管事項） → 原案承認（賛成多数）
- 平成17年度能美市国民健康保険特別会計補正予算 → 原案承認（賛成多数）
- 平成17年度能美市老人保健特別会計補正予算 → 原案承認（賛成多数）

委員会における質疑応答

- ◎ 学校関係の整備事業には何があるか。
A 浜小は防音空調、粟生小は建具復旧、寺井中は更衣室、便所新設、辰口中は施設整備がある。
- ◎ 就学援助の実態はどうか。
A 小学生115人、中学生67人（平成17年度）で年々増加している。
- ◎ 地域生活センターとは。
A 介護予防型機能を持ち、介護予防や安心生活を支援する施設である。
- ◎ 能美市総合計画に保育園の整備計画を盛り込んでいくのか。
A 保育園については、総合計画と整合性をとりながら、整備を行いたい。
- ◎ 能美市のゴミの排出状況は。
A 平成16年度は総排出量14,947tでゴミの分別が浸透している。
- ◎ 国民健康保険の滞納実態は。
A 12月末で240件の保険証未交付があり、計3回交付通知をしている。

委員会活動

産業建設 常任委員会



▲産業建設常任委員会視察風景

委員会付託案件 19件 主なもの

- 能美市特別会計条例の一部を改正する条例について → 原案承認（全員一致）
- 能美市営住宅条例の一部を改正する条例について → 原案承認（全員一致）
- 能美市公共下水道条例の一部を改正する条例について → 原案承認（全員一致）
- 能美市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市一般会計予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市公共下水道事業特別会計 → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市農業集落排水事業特別会計予算 → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市温泉事業特別会計予算 → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市水道事業特別会計予算 → 原案承認（全員一致）
- 平成18年度能美市工業用水道事業会計予算 → 原案承認（全員一致）
- 平成17年度能美市一般会計補正予算（所管事項） → 原案承認（全員一致）
- 能美市商工福祉会館の指定管理者の指定について → 原案承認（全員一致）

委員会における質疑応答

- ◎ 能美市特別会計条例の一部改正とは。
A 能美市住宅地開発事業特別会計の廃止。公園や調整池の維持管理が主になるため、一般会計にて運営する。
- ◎ 公共下水道条例の一部改正とは。
A 工場からの有害物質等の流出事故発生時における措置の充実を図るための改正。
- ◎ 農業集落排水処理施設条例の一部改正とは。
A 排水処理施設使用料を2年間で公共下水道使用料と同額とするための改正。
- ◎ NPO法人への助成があるが、いくつかの団体でどのような事業をしているのか。
A ござっせ倶楽部とエコ未来塾の2団体があり、ござっせ倶楽部は、寺井街なか再生や地域通貨の流通を。エコ未来塾は、里山活性化、環境問題、資源問題他に尽力している。
- ◎ 福島しらすぎの里の土地価格修正はどうか。
A 1区画100万円～150万円の修正になる。
- ◎ 福島しらすぎの里の土地価格修正はどうか。
A 1区画100万円～150万円の修正になる。

視察報告

議会運営委員会視察報告

視察日

平成18年2月6日～7日

視察場所

石川県議会事務局
白山市議会事務局
七尾市議会事務局

視察の目的

- ①議会運営の申し合せ事項
- ②会派について
- ③政務調査費について

視察の内容

議会運営の申し合せ事項について、県及び両市は会派による運営がなされ、議会運営委員会の構成メンバーは、議会運営委員会規約の規定により、会派の議員数により割り振られている。

次に会派と政務調査費については、主な内容として、政務調査費については会派に交付、収支報告書を事務局に提出、領収書については、会派にて管理し、宿泊費、交通費についてはそれぞれの旅費規程によっているとのこと。

今回の視察を参考に、今後議会運営、会派、政務調査費について議論を重ね、開かれた議会をめざしてやっていきたい。



総務常任委員会視察報告

視察日

平成18年1月30日～31日

視察先

岐阜県可児市

視察の目的

可児市コミュニティバスの運行について

視察の内容

導入の目的は、①高齢者の日常生活の移動交通手段の確保②公共施設等の利便性の確保③交通空白地帯の解消④既存の輸送サービスの確保

運行概要は、①バスを市で6台購入し、運行バス会社に無償貸し付け②バス会社と運行契約を締結し、運行及びバスの管理を依頼③バス会社が道路運送第21条第2項の許可を受けて運行④運行に要した経費は、運賃収入を差し引いて市が負担する(岐阜県は、市運営のコミュニティバスに費用の3分の1の補助がある。)

運行路線は、①既存バス路線との重複を避ける②遠距離化を避け、極力1時間以内となるようにする③人口集積が高く、かつ高齢者率の高い地域を優先する④公共施設、駅、病院等の主要施設を巡回する⑤バス停までの歩く距離を考慮し、バス停間隔は300mとし、なるべく生活道路を運行する

能美市の今後の課題として、利用者の満足度を確保し、市民のバスとして定着するよう工夫を重ねていくことが重要であると感じた。

産業建設常任委員会視察報告

視察日

平成17年12月19日～20日

視察先

能美市横断道路整備予定箇所、輪島市まちづくり

視察の内容

■予想される能美市横断道路ルートの現地視察を行い、机上での議論ではなく、今後提示されるルート案に対して適切に対応できるようにした。

■能美市における商店街再生の参考とするため、輪島市で行われた道路整備事業による商店街の再生と、この事業から派生し、輪島のまちづくりに中心的な役割を果たした「輪島都市ルネッサンスまちづくり協議会」の活動を視察した。

現在、能美市の商店街は大型SCの進出により衰退の一途をたどっている。近未来に予測される人口減少による高齢化社会の出現に対応するためにも、高齢者が歩いて買い物に行ける中心商店街の再生は待ったなしで行わねばならない重要課題であり、今回の行政視察を通してまちづくりと商店街の再生に向けた取り組みを、一層推進しなければならぬと痛感した。



視察報告

西川流域・海岸対策特別委員会視察報告

国土交通省の手取川河川整備計画(素案)の熊田川、西川合流部樋門(水門)設置を念頭に、今回強制排水施設にテーマをしぼり4施設を視察。

視察日
平成18年1月25日～26日

視察場所・視察内容
①梯川第二排水機場
季節柄、凍結とゴミ問題に直面。維持管理費について説明を受ける。

②高岡市福岡庁舎・池田排水機場
自家発電装置に関心をよせる。

③国土交通省高岡出張所・四屋排水機場
樋門は、高岡市、離れたところに設置された排水施設は国土交通省が管理する二元体制の管理。排水能力と過去のデータを基に説明を受ける。

④氷見市土地改良区・十二町潟排水機場
24時間体制の運転管理。排水ポンプ補修工事中でもありメンテナンス等将来設計について研修。

各施設、地域の事情をふまえての設置と管理。規模の大小と対コストについて協議と調査がこれからも必要との見識で視察を終える。



能美古墳群保存整備特別委員会視察報告

視察日

平成18年1月25日～26日

視察場所

奈良県河井町及び明日香村

視察の内容

ナガレ山古墳は、全長105mの前方後円墳。造られたのは古墳時代中期頃で、特徴として墳丘の左側を古墳築造当時のように葺石(ふきいし)や埴輪(はにわ)を復元、右半分は現状に近い形で保存している。こうした事例は、全国では初例である。

また、埴輪の模型のうち、町民の手作りのものが190体採用されており、住民参加型の史跡整備事例として高く評価されている。

明日香村では、高松塚古墳やキトラ古墳等を視察した。

明日香村の歴史は、大和王権による古代国家成立までにさかのぼり、当時は政治の中心地であった。蘇我氏による支配政治、聖徳太子による摂制政治、大化の改新等有名な事件があり、それを裏付けるように国宝、重要文化財となる史跡が村域全体に数多く存在する。そのため、村域全体が古都保存法による指定を受けており、開発行為を行なうことができないため、住民生活の向上に資するため「明日香法」が制定された。

今回の視察を通じて学んだことを今後の能美市の遺跡保存整備事業に活かしていきたい。

統合庁舎検討特別委員会視察報告

視察日

平成18年1月24日～25日

視察先

滋賀県米原市(米原庁舎)

視察項目

①合併協議経過

坂田郡に4町があり、昨年2月14日に米原町、山東町、伊吹町が合併し、10月1日に近江町が併合した。

②統合庁舎建設について
今、議論はないが、分庁での経費のムダ、時間ロス、迅速対応の不備などから、将来必要。現在、市民からの盛り上りに期待。

③窓口業務について
サービス低下を招かぬよう4分庁に窓口有り。テレビ会議システム(テレビ電話)を導入して、他庁の担当者と直接面談。たらいまわしをしない方針。

④議会の審議について
各委員会の傍聴は当然認めていて、その上、傍聴議員からの発言、意見を認めている。従って、本会議での質疑において、局部的なものは、認めないとしている。



視察報告

広報特別委員会 視察報告

● 視察日

平成18年2月6～7日

● 視察先

三重県いなべ市

● 視察目的

議会広報の編集方針について

● 視察の内容

いなべ市の広報特別委員会の委員の方と意見交換を行ない、次の様な参考意見があった。

① 一般質問者に「録音テープ」と「フロップ・ディスク」を渡し、550字以内ワープロにて作成提出ねがう。

② 言い回しの違いはないか、関係者に再確認。

③ 一ページあたりの印刷費は、約0・95円、能美市は、約1・27円、全ページカラーの為。

④ 自治会加入者以外への議会だよりは郵送している。

⑤ 一般質問に使用している写真は事務局にて撮影している。

⑥ 市民からの広報に対する意見は無い。傍聴された方に意見を貰ったり、広報最終ページに全体を読めばわかる「クイズ」を掲載し、感想と共に送っていただき、その中から数名に記念品。

⑦ 表紙の一言メッセージは、事務局で書いている。

⑧ 参考にした静岡県清水町では、あの質問はどうなったかの「コーナー」を設け、町の対応と状況を知らせている。
以上、今後の広報に活かしていきたい。

議会傍聴記

泉町 田中 邦一

私が傍聴したのは第1回一般質問でした。昨年12月中旬からの豪雪の後でもあった為雪害対策などについての質問が多く、私自身も雪の多い地域に生活する者として興味深く聴きました。消雪装置を設置してほしい、除雪車の手配が遅い、完全な除雪が出来ておらず住民からの苦情が多い、など住民の声をそのまま市にぶつける様な意見が多かったようです。

確かに個々人にとっては不満であったろうと思います。しかし18年豪雪と政府も命名した程の異常事態。こんな時にすべて行政に頼っていいは問題は解決しないのではなからうか。

雪にかぎらず自然災害に対する行政と住民の役割分担をどうするか「地域力」が急務であると思いました。

能美市が誕生して1年、旧根上町から辰口町まで松枯れ対策、商業の振興、商店の活性化など多くの難しい問題がある事を実感し、我々個々人が協力すべき事は進んで実行する事が住みよい街づくりにつながると実感した。

編集

後記

この数十年温暖化傾向に有り暖冬に馴れてきました住民の予想とは裏腹に、サンパチ・ゴウロク（S38年S56年）以来の豪雪に見まわれ生活にも大きく支障をきたしました。昔は住民全員で道路除雪や屋根の雪下ろしと協同作業により生活圏を確保してきました。昨今道路は機械力により確保されましたが、絶え間なく降り続く雪には心体共に疲れ果て、反省させられる冬であったと思います。高齢化が一段と進む過疎にあつて、狭い生活道路や屋根雪下ろしなど機械力で処理できない所で高齢者の痛ましい事

故が多く発生し今後の対応が望まれます。

春を間近に控え、暑

さ寒さも彼岸までと言

われますがお彼岸ながら粉雪舞う肌寒い早春

となり、入学時期を迎え心膨らむ豊かな暖かい

希望にみちた春となります様願っています。

（白川 寛）

● 広報特別委員会 ●

委員長 小手川正明

副委員長

嵐 昭夫

委員

白川 寛

倉元 正順

北野 哲

福田 豊

